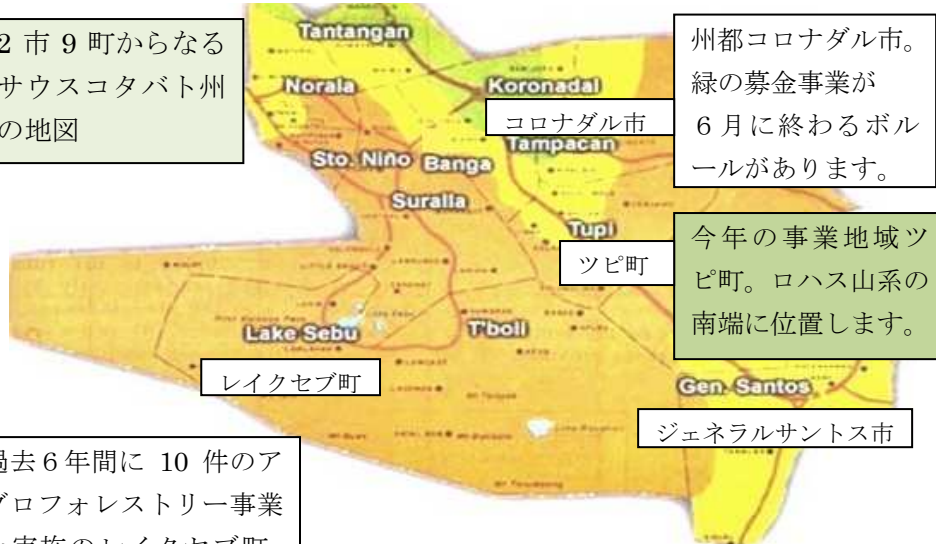


# 農村開発・環境保全

## ツピ町のピラーンの村ブナオでもアグロフォレストリー事業が始まります

2市9町からなる  
サウスコタバト州  
の地図



州都コ罗纳ダル市。  
緑の募金事業が  
6月に終わるボル  
ールがあります。

今年の事業地域ツ  
ピ町。ロハス山系の  
南端に位置します。

レイクセブ町

ジェネラルサントス市

過去6年間に10件のア  
グロフォレストリー事業  
を実施のレイクセブ町。  
(ダグマ山系の南西端)

### 事業スケジュール

- 4月：住民説明会  
対象30世帯の決定
- 5月：約8,000本の各種苗木の注  
文と、在来種植林地域  
10haの整地
- 6月：雨期の始まりとともに、  
各種苗木の定植作業開始
- 7月：理念及び技術研修実施
- 9月：在来種苗木1回目手入れ
- 11月：中間報告作成
- 1月：在来種苗木2回目手入れ  
他、事業期間に当団体担当者の  
事業モニターを2回実施

過去数年間、アグロフォレストリー事業は、観光資源でもある希少な熱帯の生態系を守りたいというレイクセブ町の協力もあり、セブ湖に浮かぶ島を含めて、町内10地区で実施してきました。しかし、レイクセブ町は観光に加えて、ハンディクラフト等の副業収入もあるなど、アグロフォレストリー事業の目的の一つ、収入向上という点では、他地域を優先したほうがよいと考えて、本年は環境修復や収入向上の必要性がより強いとされるツピ町の山沿いにあるピラーン民族の村バラングイ・ブナオで実施することになりました。

このブナオを含むジェネラルサントス市からコ罗纳ダル市に向かう国道沿いは、かつてはそのほとんどがピラーン民族の土地でした。20世紀以降のピサヤ諸島やルソン島からの移住者急増で、農耕適地を含む平坦地は入植者や大農園経営者のものとなり、ピラーンは山腹斜面でのコーンや根菜類栽培で糊口を凌いでいる状態です。また、急傾斜地の耕地化による土壌浸食の懸念も大きいため今回対象としました。(イオン環境財団助成事業)

コ罗纳ダル市ボールのアグロフォレストリー  
事業責任者 PFP ニックの報告 (4/15) から—  
竹、ココヤシ、果樹、バナナ、コーヒー及びナブル等の在来種は、受益者による適正な手入れにより、3月後半から始まった乾季にもかかわらず、枯れた苗はほとんど見当たらない。

乾季の手入れでは通常行う苗回り直径1m以内の除草作業は行わず、土壌の乾燥を最小限にと指導している。雨期に入る6月の事業終了時までには、除草を含む2回目の手入れを終了する予定。



在来種ナブルの苗



果樹(ランブタン)の苗

### 学校農園で使う水牛購入にご協力ください



ILSでは財源用にトマトを栽培していて、子どもたちも学習の一環として、支柱を立てる作業に参加しました。

前号で紹介のレイクセブ町山間部で森林農業を推進するアニータ先生から、PFPを通じて以下の要請がありました。

「先住民族学校/ILS 継続のため、学校農園を拡大したい。山の畑開墾や収穫物を公設マーケットに運ぶ水牛購入にご協力いただけませんか」

ILSは、SCMSI校や公立校は遠くて通えない年少児の教育機会を守るため、元SCMSIデコロンハイスクール校長だったアニータ先生が設立した施設です。4年前78号での呼びかけに応じて2年ほど定期支援をいただいた会員もご高齢で退会されました。水牛は1頭約5万円です。一口1000円の水牛基金にご協力お願いいたします。(山崎)